

## 入院時オリエンテーションの見直し

— 用紙の改善を試みて —

○白石恵理 横内 長谷川 望月 高橋 渡辺  
岩崎 松谷 (位)

### はじめに

小児科病棟は、一般に緊急入院が多い。当病棟も例外ではない。入院の際オリエンテーションを実施しているが、緊急入院の場合、母親の精神的動揺が大きい上、時間、方法、用紙等に適正を欠く為、入院後いくつかの食い違いが生じる事がある。主なものに、面会について、持参物品について、事故防止についてなどが挙げられる。私達は、その原因がオリエンテーション用紙にあるのではないかと思い、今回、用紙の見直しと改善を図った上で、実施方法の見直しを行ったのでここに報告する。

### 研究方法

1. スタッフに従来のオリエンテーション用紙の問題点、改善すべき点を記入してもらった。  
期 間：平成2年5月24日～5月30日  
回収率：100% 29名中29名
2. 家族に対し、オリエンテーションについてアンケートを依頼した。(初回入院の患児に限定した。)  
期 間：平成2年7月6日～9月3日  
回収率：62% 53名中33名
3. 他病院のオリエンテーションの現状を知る為に、都内近郊の大学病院、又は総合病院20箇所に、アンケート及び当病棟で使用しているオリエンテーション用紙を一部送付し、意見を求めた。アンケートについては、当科と同じ条件であるかを知る為に、図1の様なアンケートを依頼した。同時に、依頼した病院で使用しているオリエンテーション用紙を同封してもらい参考にした。

### 結 果

1. 看護婦側からの問題点の抽出とその理由

#### 1) 入院時持参するもの

- (1) 母子健康手帳、印鑑は直接看護婦側で必要としない為省いた。
- (2) 同じ玩具が多く、又名前が消えてしまうと誰の物か分からない為、名前の記入を強調した。

#### 2) 付き添いについて

- (1) 面会時間や消灯時間等の規則が守られなかったり、看護婦側の説明不足もある為、個室に入院する時の説明を加えた。

#### 3) ミルクに関する記載が何もなく、ミルクも出るのかと言う、家族からの質問が多いので、ミルクについての説明を加えた。

#### 4) 衣類について

- (1) 衣類についての項目を省き、持ち物の説明の中に加えた。
- (2) 以前は布オムツのみ使用していたが、紙オムツの普及により、使用を希望する家族が多くなった。しかし、オリエンテーション用紙には「オムツ等は～」としか記載がない為、紙オムツも病院で準備してもらえと思う家族が多いので、布オムツと紙オムツを別々に説明する事にした。
- (3) タオル類は、紛失しやすい為に、持ち込みはできるだけ避ける様説明を加えた。

#### 5) 面会について

- (1) 中学生以下は面会出来ないという看護婦間での取り決めはあったが、お子様連れと漠然としか記載されていなかった。知らなかったと友人等が面会に来る事がある為、学校の先生、友人にもその旨を伝えてもらう様に加えた。

#### 6) 現金は持たせない為、テレホンカードは許可した。

#### 7) 持続点滴を施行している児が多く、自己抜針の危険性があり、又ベット転落の危険があるので事故防止について加えた。

#### 2. 家族へのアンケートより

入院時オリエンテーション用紙と、オリエンテーションの方法について家族がどの様に思っているのか、アンケート依頼の結果下記のような結果が得られた。

図 1

**小児科病棟アンケート**

\* 1～4 は平成2年1月1日から9月30日迄

- 病床について
  - 1) 定数 床 平均在院患者数 人/日
  - 2) 病棟は小児科のみですか、外科系小児科と混合ですか  

単独
混合
- 付き添いの有無  

有
無

  - 1) 全員
  - 2) 才以下
  - 3) その他
- 毎日平均何人ぐらいの新入院がありますか  

人
- 入院中の患児の主な疾患
  - 1) 慢性疾患      2) 急性疾患
  - ①                      ①
  - ②                      ②
  - ③                      ③
- 貴病棟での入院時オリエンテーション方法を簡単に結構ですのでおきかせ下さい
  - 1) 方 法
  - 2) 時 間
- 当病院の入院時オリエンテーションについての御意見をおきかせ下さい。

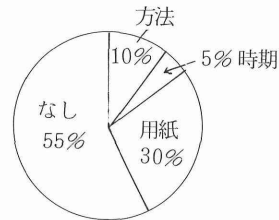
どうもありがとうございました。

表 1

項 目	はい	いいえ	その他
1. 用紙について			
1) 内容は納得できるものか	91%	6%	3%
2) 用紙はわかりやすかったか	94%	0	6%
2. 案内の仕方について			
1) 時期は適切か	67%	18%	15%
2) 説明はわかりやすかったか	85%	9%	6%
3. その他	ある	なし	
1) 意見 (入院時に感じていること)	45%	55%	
種類・不安=53% 安心=26% その他=21%			

以上のような結果から、時期が適切でないと感じている人が、18%いるが、説明が理解しやすいと答えている人も多数いる。しかし、説明は理解できても、半数の人が不安を持ちながらオリエンテーションを受ける為、前記のような問題が生じている。

### 3. 他病院からの意見



#### 1) 方 法

- ・オリエンテーションの時期をずらした方が良い。
- ・後になって説明しにくい事があり、初回オリエンテーションが肝心である。

#### 2) 時 期

- ・その都度、説明を加えていく。

#### 3) 用 紙

- ・紙面が読みにくい。
- ・簡潔で良い。
- ・子供が見ても分かりやすいものが良い。
- ・日課があった方が良い。
- ・病棟内の紹介や、注意事項を別紙で加えた方が良い。
- ・用意する物は、年齢別に分けた方が良い。

#### 4) のなしについては、現在用紙を検討中というものもあった。

### 考 察

今回、入院時オリエンテーションの見直しを取り上げた理由に、入院時にオリエンテーションを行っているにもかかわらず、規則が守られていなかったり、何度も同じ注意をしなければならないという現状があった。私達看護婦の気持ちの中には(説明したはずなのに何故わかってくれないのか。紙まで渡しているのに……。)という思いがあった。そこでオリエンテーション用紙に問題があるのではないかと考え、用紙の改善を試みた。改善するにあたっては、前記3つのアンケートの問題点を分析し、新しい項目を設け、更に内容の補充をした。又、入院から入院生活の過程を系統的に理解できるように、項目の順序を工夫した。

(図2参照)

しかし、用紙の改善を行っていくうちに、家族と看護婦との間に食い違いが生じる原因は、家族の気持ちを十分に理解せず、看護婦の視点で、看護婦中心のオリエンテーションを行っていたのではないだろうかという事に気がついた。更に個々の看護婦の説明の仕方にも、相違があったのではないかという疑問がでてきた。当初、オリエンテーション用紙に問題があるのではないかと考えていたが、それ以上にオリエンテーションを施行する看護婦にも問題があるという考えに至った。

アンケート結果にも表われているように、子供の入院に対する家族の動揺は、看護婦が考えるより遥かに大きいものである。その心の動揺の大きい時期にオリエンテーションを行わなければならない以上、家族の気持ちを察し、少しでも不安をやわらげる事ができるように対応していく事が必要だと思った。斉藤氏は「関係作りとは、受容に始まり受容に終わる。その受容とは、相手の不安の背景を知る事である。」と述べている。この言葉からもわかるように、相手の不安を察した上でのオリエンテーションでなければならないと考える。用紙の改善の必要性を感じながらも、それがなされなかった事、オリエンテーション実施方法の統一性が問題視されなかった事も、看護婦の視点に基づくオリエンテーションであったと言えるのではないだろうか。

#### おわりに

オリエンテーションは、家族との信頼関係を得る第一段階である事を再確認した。その信頼関係は患児がより良い入院生活を送るうえで重要な事である。今回オリエンテーションを見直し、新しいオリエンテーション用紙を作成したが実施に至らなかった事は残念であり、反省すべき点である。今後改善したオリエンテーション用紙を用いどのような状況においても、同じオリエンテーションが受けられるように、看護婦側のオリエンテーション用紙を作成し、看護婦間の統一を図ってゆきたい、そして家族の気持ちを受け止めながら実施してゆきたい。

#### 謝 辞

この研究を進めるにあたり、御協力下さいました御家族の方々、他病院の皆様、望月看護部長、青木副部長に厚く御礼申し上げます。

#### 参考文献

1. 小児看護心理学 斉藤慶子他 医学書院
2. 小児日常診療マニュアル 中山健太郎 文光堂
3. 小児看護 1987年3月号 へるす出版
4. 小児看護 1990年10月号 へるす出版

#### 従来のオリエンテーション用紙

##### 小児病棟入院案内

東京医科大学病院 10階西病棟  
電話 3346-8111  
内線 (2380-2382)

この度、大切なお子様をお預かりさせて頂くことになりました。つきましては、主治医をはじめ、私ども看護婦一同も一生懸命お世話致しますので、ご家族の皆様も、次の事項については、ご協力くださいますようお願い致します。

#### 1. 入院が決定しましたら

##### ① 入院時持参するもの

— 衣類、オモチャ、洗面用具、箸&スプーン (小学生未満の方は必要ありません。コップ、IDカード、母子健康手帳、印鑑、ティッシュペーパー、室内履 (小学生以下のお子様は、スリッパは脱いで、運動靴にしてください。))

※所持品には、必ず名前を記入して下さい。

##### ②

看護婦よりお母さまへのお願い  
入院されるときは、お子さまの年齢に応じた言葉で、お母さまと離れて病院内に泊まることを話しておいてください。

#### 2. 付き添いについて

当病棟は、基準看護になっておりますので、家族の付き添いはできないことになっております。

#### 3. 食事について

入院中の食事は、全て小児食を用意いたします。午前と午後にはオヤツがあります。食事が制限される場合もありますので、飲食物の持ち込みは一切お断わります。(面会の方の飲食もお断わりしています。)

#### 4. 衣類について

① 2才までのお子さまの入院中の衣類、オムツ等は、病棟で用意いたします

② 2才以上のお子様の病衣も用意致しますが、肌着、下着は、3組程ご用意下さい。ただし、お子様の発達段階による衣類の好み、色彩感覚の為の少量の私物は、お預かり致します。

(ご使用になっているパジャマ等のご希望の場合はご持参ください。)

③ 私物の衣類の洗濯は、面会時交換し、自宅をお願いします。

④ 常時、洗濯物入れを置いておくようにしてください。

#### 5. 面会について

当病棟では、外来者による感染予防の為に、面会を制限しておりますので、次の事項をお守りくださるよう、お願い致します。

① 面会日・・・火、水、木、土、日、祭日

② 面会時間・・・15:00~19:00

③ お子様連れの場合はお断わりいたします。症状がでていなくても、伝染性の病気ににかかっている場合があります。(しかし、水ぼうそう、おたふくかぜ等の潜伏期)

④ 時間外及びその他特別の事情による面会は、病棟責任者の許可があった場合にのみ限ります。(例)緊急で入院した場合、重症の場合

⑤ ①、②の場合でもお子様の病状(感染症の発生)により面会を制限する場合がありますのでご了承下さい。

⑥ 面会する場合は、面会許可証をお持ちになりナースステーションにお立ち寄り下さい。

⑦ 電話による病状等のお問い合わせは、10:00~15:00までにお断致します。

⑧ 尚、面会はなるべく小人数で、お願い致します。(面親、同居している祖父母)室外にでられる場合は、看護婦の許可を得てからにしてください。

⑨ 面会中に、お子様の床頭台のオモチャ、衣類の整理、点検を必ずお願い致します。

⑩ 病棟内に入出入りする際、入り口のドアの施錠をお願い致します。

#### 6. オモチャについて

① 次の様な物は避けてください。  
高価な物、大きな縫いぐるみ、及び小さく幼児が飲み込み易い物、重い先のとがっている危険な物。

② オモチャは3つ以内とし、新しいオモチャを持参した際は、古いオモチャと交換して下さい。

③ オモチャは必ず名前を、記入して下さい。

④ ハサミ、ナイフ、ノリ等は看護婦の所にある物を使用して下さい。

#### 7. その他

① 他の病棟、又は本院でお薬を続けているものがありましたら、看護婦に渡して下さい。

② 入院中のお子様の病状に関して、主治医と話を希望される場合には、事前に申し出て下さい。

③ お子さまにお金を持たせないで下さい。

④ わからない事がありましたら、遠慮なく看護婦にご質問下さい。

⑤ 退院が決まりましたら、前もってお知らせ致しますので、10:00までにお迎えにいらっしゃって下さい。

図2 改善後のオリエンテーション用紙

## 入院のしおり

東京医科大学病院 03-3342-6111

10階西病棟 内線2380~2

大切なお子様の入院で、御家族の皆様は御心配な事が多いことと思います。私どもは、お子様が一日も早く回復されますようお願いしております。皆様も下記の事項を御理解の上、御協力をお願い致します。

### 1. 御用意いただく物

- 乳児・・・I Dカード（診察券） 紙おむつ ティッシュペーパー おもちゃ  
（布おむつは病院で用意しますが、有料となります。1日500円）  
幼児・・・I Dカード（診察券） 下着（3~4組） 汚れ物を入れる袋 ティッシュペーパー スプーン フォーク 割れないコップ 歯ブラシ おもちゃ 運動靴（スリッパは危ないので避けて下さい）  
学童・・・幼児と同様のほか、勉強道具（必要に応じて）

☆冬期は、カーディガン又はガウン・くつ下をお持ち下さい。

☆毛布、タオルケット、バスタオル、タオルの持ち込みは御遠慮下さい。持たせたい物がある場合は看護婦に御相談下さい。

### ○注意事項（必ず読んで下さい）

- ①持ち物には、必ず消えない様に名前を記入して下さい。
- ②おもちゃは3つ程度とし、高価な物 危険な物 紛失し易い物（大型ラジカセ、ゲーム類、はさみ、ナイフ、バズル等）は、避けて下さい。
- ③お子様の持ち物は、面会時に整理して下さい。
- ④現金・貴重品は、お子様には持たせない様にして下さい。  
（テレフォンカードは許可しています）
- ⑤テレビの持ち込みは禁止しています。



### 2. 日課表

6:00 起床 検温 洗面	pm 1:00 お昼寝 安静
7:00 採血	2:00 検温
8:00 朝食	3:00 おやつ 面会時間
9:00 身体の清潔（清拭・入浴）	6:00 夕食
10:00 おやつ 検査 処置 回診	7:00 検温 面会終了
11:00 あそび 学習（学童）	7:45 就寝準備 夕回診
12:00 昼食	8:00 乳幼児就寝
	9:00 消灯 学童就寝

### 週間予定

月曜日：教授回診（有難教授）

金曜日：教授回診（本多教授）

木曜日：シーツ交換（汚れた時は、その都度交換致します）

### 3. 食事について

- ①ミルクは、医師の指示により家で飲んでいたものと同じものを用意します。
- ②食事とも年齢に合ったものが用意されます。アレルギー等のある方はお申し出下さい。
- ③おやつは午前10時と午後3時にします。
- ④お子様への食べ物の持ち込みは、治療上支障を来しますので一切お断りしております。

### 4. 面会について

- ①面会日：火 水 木 土 日 祝日
- ②面会時間：午後3時~7時（土・日・祝日も同じです。）
- ③中学生以下のお子様の面会は、お断り致します。（はしか、水ぼうそう、おたふくかぜ等の感染予防のため、面会を制限しております。学校の先生や友達にも、その旨お伝え下さい。）
- ④面会の人数は、他児の負担となるため2人までと致します。
- ⑤時間外及びその他特別の事情による面会は、病棟責任者の許可があった場合のみに限ります。（緊急に入院した場合、重症の場合等）
- ⑥面会者の病棟内での飲食・喫煙は、固くお断り致します。一階の喫煙室を御利用下さい。

### 5. 付き添いについて

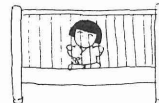
当病院は、基準看護となっておりますので、付き添いは、できません。

### 6. 個室に入院される方へ

- ①患児に付き添いが必要と思われる場合のみ、付き添い申請書を提出の上一名が24時間付き添うことができます。
- ②付き添い者の寝具は病院で用意しますが、有料となります。
- ③付き添い者の食事は出ません。
- ④お風呂はありません。
- ⑤付き添い申請者以外の方の面会は、大部屋と同じ条件です。

### 7. 事故防止

- ①ベッド欄は、お子様の安全を守る物ですので、少しの間でもそばを離れる時は、必ず欄を一番上まで上げて下さい。
- ②点検をつけているお子様を動かす時（抱く時、椅子に降ろす時等）は、看護婦に声をかけ下さい。又、部屋から出さない様にして下さい。
- ③点検を自分で抜いてしまう恐れのあるお子様、又は安静の保持が必要なお子様の場合やむを得ず身体の一部を抑制する事がありますので御了承下さい。
- ④病棟入口のドアは、必ず施錠して下さい。



### 8. その他

- ①お子様は、病棟外に出ることはできません。
- ②電話による病状等のお問い合わせは、午前10時~午後3時にお願致します。
- ③お子様への電話の取り次ぎは原則として致しませんが、伝言は致します。又、面会者への取り次ぎも、看護婦の申し送り中（午後4時~5時頃）はお断り致します。
- ④お子様の病状に関して、主治医のお話を希望される場合には事前にお申し出下さい。
- ⑤退院が決まりましたら、主治医より御連絡申し上げますので、午前10時頃お迎えにいらっしゃってください。
- ⑥診断書等の書類については早めにお申し出下さい。退院当日の提出は御遠慮下さい。

わからないことがございましたら、いつでも結構ですので看護婦におたずね下さい。